

学 校 教 育 目 標

中 学 部 教 育 目 標

一人一人の実態やニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行い、集団生活に必要な基礎的・基本的事項（約束や決まり、挨拶や言葉遣い、コミュニケーション等）を身に付けることができるようにするとともに、周りの人との関わりを築く中で、積極的、主体的に活動しようとする生徒を育てる。

努 力 点 及 び 具 体 的 な 取 組

学習指導の充実	実態や教育的ニーズを的確に把握し、確かな学びの姿を基にした適切な目標設定による授業実践及び学習評価の充実に努めることで、主体的に課題を達成していこうとする生徒を育てる。 ○ 連絡帳や教育相談、「個別の教育支援計画」、「個別の指導計画」等を活用して家庭や関係機関等との情報共有をする。 ○ 学級担任と教科・授業担当者間との連携を密にしながら適切な目標を設定し、指導方法や学習内容等の工夫をするとともに、評価に基づく改善・充実に努める。 ○ 障害の状態や特性、発達段階に応じた ICT 等の教材機器の積極的な活用を図り、将来の豊かな生活につながるような学習内容を取り入れる。
生徒指導の充実	家庭や寄宿舍、関係機関等と連携し、生徒が抱える課題やその背景などの情報を共有したり、生徒の不安や悩みを共感的に受け止めたりするなど、寄り添い導く積極的な生徒指導を行うことで、自分自身の大切さに気付き、自尊感情を高められるような生徒を育てる。学部や課程、学年全体など、集団での学習活動を取り入れることで、集団活動の規律やルールを身に付けたり、積極的に周りの人と関わろうとしたりする生徒を育てる。 ○ 生徒や保護者等との教育相談の充実に努め、生徒に関して得られた情報等は学部会等で共有し、支援・指導方法の統一を図る。 ○ いじめ等、諸問題については、全職員で情報共有し、チームとして早期に組織的・効果的に対応できるようにする。 ○ 挨拶や言葉遣いなど学校内外でのルールやマナー等は、場や状況に応じて教師が手本を見せるなどして日常生活の中で学べるようにする。 ○ 生徒同士が互いに助け合い、学び合う場と機会を積極的に設け、相手の身になって考えたり、相手の良さを見付けたりすることができるようにする。
進路指導の充実	発達段階に応じたキャリア教育の視点に立ち、働くことや将来の生活への意識を高める学習活動を積極的に取り入れ、働くことへの興味や関心を高め、喜びを味わわせるとともに、自分の適性に合った係活動や役割を選んだり、仲間と協働して責任を果たそうとしたりする生徒を育てる。 ○ 生徒一人一人に応じた役割分担をし、協力して最後まで成し遂げる体験を多く取り入れる。 ○ 系統的な計画に基づく職場見学や職場体験等、進路実現に向けた体験を取り入れた校外学習を実施する。 ○ 研修や実践を通して、特別支援学校の教職員としての専門性や指導力を高め、生徒の卒業後の生活に生かせるように組織的・計画的にキャリア教育を行う。
保健・安全指導の充実	安全・安心に配慮した教育環境の整備等の充実に努め、安全や健康管理への関心を高められるように保健教育や健康教育、食育等を充実させていくことで、心身共に安定し充実した毎日を過ごそうとしたり、積極的に運動に親しもうとしたりする生徒を育てる。 ○ ヒヤリハット等の情報共有や日常的な安全点検を徹底し、事故・再発を防止する。 ○ 必要に応じた感染症予防対策を行って教育の環境を整えるとともに、保健教育の充実に努める。 ○ 安全・安心に配慮した環境を整え、健康で楽しい生活を送ることができるように、実態に応じて、心の健康教育や性に関する指導、安全教育、給食・摂食指導、防災教育、身体の衛生、トイレ指導等を行う。 ○ 日常生活や体力づくり、保健体育等で、身体・健康についての学習や運動等を積極的に取り入れ継続して行う。